

京都大学アフリカ地域研究資料センター公開講演会



【講演者】島田周平

名古屋外国語大学・教授

京都大学大学院アジア・アフリカ

地域研究研究科・名誉教授



ナイジェリアの 大統領選挙の結果 を読み解く

【日時】令和5年3月9日（木）

15時～17時（14時45分開場）

【場所】ハイブリッド開催

京都大学稲盛財団記念館 大会議室 + Zoom配信



参加申込フォーム
（メ切：3月8日）

【お問い合わせ】京都大学アフリカ地域研究資料センター：casas@jumbo.africa.kyoto-u.ac.jp

【共催】京都大学アフリカ地域研究資料センター、日本アフリカ学会関西支部、
龍谷大学社会科学研究所指定研究「台頭するアフリカ地域大国ナイジェリアの総合的研究」

ナイジェリアでは4年ぶりの総選挙が2023年2月25日に予定されている。前回（2019年）同様に全人民会議（APC）と国民民主党（PDP）の2大政党の優勢が伝えられている。しかし、APCのティヌブ候補が健康問題で危惧され、PDPのアブバカル候補が深刻な党内分裂の影響を受ける中、かつて南東部アナンブラ州の知事を務めた労働党（LP）のオビ候補への関心も高まっている。

本報告では、選挙期間中に起きた様々な出来事を整理したうえで選挙結果を分析し、国民が下した判断は何を意味するのか考えてみたい。